

Denka

Possibility
of
chemistry

2024年度(2025年3月期) 第3四半期 決算説明会資料

証券コード：4061

デンカ株式会社

2025年2月7日

- 米国DPEに対する新規制の審理状況は、2Q決算発表時点から大きな変化なし。
- 事業の抜本的対策については、2024年度中を目標として検討継続中。

新規制に対するDPEの対応

- 新規制の内容自体の見直しを求める申立て
- ルイジアナ環境品質局(LDEQ)による猶予期間の2年延長承認の法的有効性の確認を求める申立て

いずれの申立ての審理状況も、2Q決算発表時点から大きな変化なし（審理期間中は猶予期間が延長）

（新規制に対する申立ての詳細）2024年度2Q決算説明会資料 2ページ
https://www.denka.co.jp/storage/ir/library/pdf/417/20241108_denka_ir_materials.pdf#page=2

クロロプレンゴム事業の抜本的対策

- 検討の方向性：環境規制を含む事業性に基いた判断
- 検討期間：2024年度中を目標

検討の方向性と検討期間に変更なし。
2024年度中を目標に、検討継続中。

2024年度
第3四半期
決算概要
(P4-P12)

■ 営業利益：118億円（前年比△7億円）

■ 純利益：26億円（前年比△10億円）

政策保有株式売却益 2023年度第3四半期 +20億円 → 2024年度第3四半期 +3億円
2023年度 ノロウイルスワクチン開発中止に伴うIcon Genetics社に係るのれんの減損損失等 △68億円

2024年度
業績予想
(P13-P16)

■ 営業利益：180億円（期初予想から変更なし）

■ 純利益：90億円（期初予想から変更なし）

- ・概ね想定並みに進捗も、需要の回復が鈍化しており、予想達成に向けた取り組み強化中
- ・米国の新規制によるクロロプレンゴム製造設備の操業への影響および業績への影響は精査中
- ・2024年度中を目標に検討中のクロロプレンゴム事業の抜本的対策による影響は未織り込み

株主還元
(P17)

■ 配当予想：100円/株から変更なし（総還元性向96%）

2024年度中を目標に検討中のクロロプレンゴム事業の抜本的対策による影響を考慮した上で、
来期以降のキャッシュフロー改善を見込む

■ 今後の配当方針：総還元性向50%（経営計画8年間累計）を目安にしたうえで、
1株当たり配当額の維持、増加を目指す

2024年度(2025年3月期)第3四半期
決算概要

■ 営業利益は前年並、経常利益は為替影響などにより減益

単位：億円	2023年度 3Q累計 (4-12月)	2024年度 3Q累計 (4-12月)	(前年比)
売上高	2,928	3,016	+ 88
営業利益	126	118	△ 7
営業利益率	4.3%	3.9%	△ 0.4%
経常利益	85	43	△ 41
純利益	36	26	△ 10
為替レート (円/\$)	142.9	152.3	
国産ナフサ (円/Kリットル)	68,100	76,200	

【営業外損益 前年比△34】

- ・ 為替差損△10
アセチレンブラックの新規製造拠点（タイ）ほか
- ・ 固定資産処分損△7
- ・ 金融収支△7

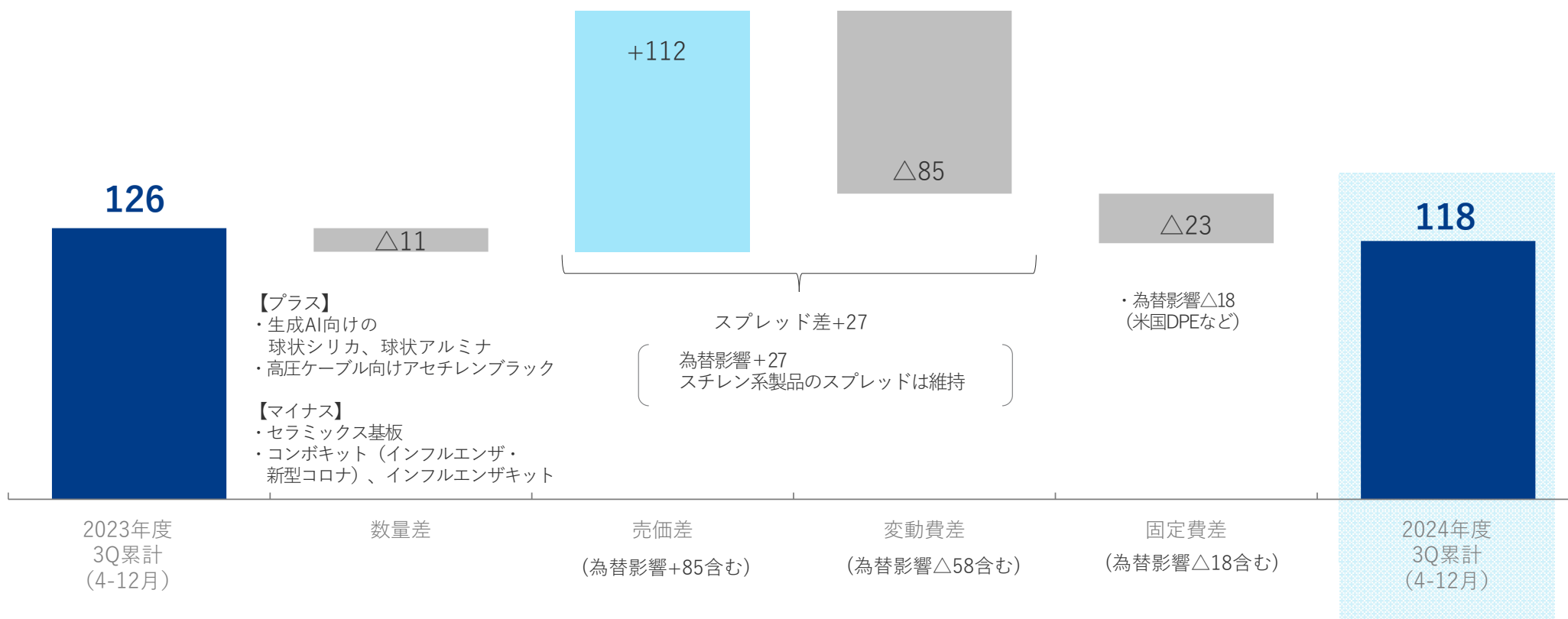
【特別損益 前年比+49】

- ・ 政策保有株式売却益△16
2023年度3Q累計+20⇒2024年度3Q累計+3
- ・ 事業整理損+65
2023年度にノロウイルスワクチン開発中止に伴うIcon Genetics社に係るのれんの減損損失等△68を計上

■ 生成AI向け製品の需要拡大と高圧ケーブル向けアセチレンブラックの需要回復も、セラミックス基板とコンボキット（インフルエンザ・新型コロナ）の数量減などにより前年並

単位：億円

営業利益 差異分析(前年比)



■ 電子・先端プロダクツとポリマーソリューションが増益もライフイノベーションが減益により、全体では前年並

売上高	2023年度 3Q累計 (4-12月)	2024年度 3Q累計 (4-12月)	増減		数量差		売価差		単位：億円
電子・先端プロダクツ	633	675	+	42	+	27	+	15	
ライフイノベーション	380	351	△	29	△	27	△	2	
エラストマー・インフラソリューション	858	845	△	13	△	20	+	7	
ポリマーソリューション	924	1,024	+	100	+	8	+	92	
その他/消去差	133	121	△	12	△	12		-	
合計	2,928	3,016	+	88	△	25	+	112	
営業利益	2023年度 3Q累計 (4-12月)	2024年度 3Q累計 (4-12月)	増減		数量差		売価差		コスト差等
電子・先端プロダクツ	67	69	+	3	+	21	+	15	△ 33
ライフイノベーション	97	76	△	21	△	27	△	2	+ 8
エラストマー・インフラソリューション	△56	△57	△	1	△	12	+	7	+ 4
ポリマーソリューション	3	11	+	7	+	2	+	92	△ 87
その他/消去差	14	19	+	5	+	5		-	+ 0
合計	126	118	△	7	△	11	+	112	△ 109

■ 電子・先端プロダクツ、ライフイノベーションが減益

単位：億円

売上高	2022年度				2023年度				2024年度			2Q比 (増減)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
電子・先端プロダクツ	219	256	223	238	192	225	217	245	219	232	225	△ 7
ライフイノベーション	64	155	169	88	72	150	158	90	78	146	127	△ 19
エラストマー・インフラソリューション	304	325	316	293	280	292	286	256	292	272	280	+ 8
ポリマーソリューション	316	320	303	337	298	317	309	319	326	349	349	+ 1
その他/消去差	41	29	47	34	37	51	45	54	38	40	44	+ 5
合計	944	1,086	1,058	988	878	1,035	1,015	964	952	1,038	1,025	△ 13

営業利益	2022年度				2023年度				2024年度			2Q比 (増減)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
電子・先端プロダクツ	41	56	41	42	21	28	18	24	23	27	20	△ 7
ライフイノベーション	5	60	50	28	9	57	31	20	17	40	19	△ 21
エラストマー・インフラソリューション	△2	15	△13	△11	△7	△9	△39	△37	△2	△29	△26	+ 2
ポリマーソリューション	△1	△0	△9	△1	△0	△2	6	△4	3	4	4	+ 1
その他/消去差	6	4	9	4	5	5	4	6	7	5	7	+ 2
合計	49	134	78	63	28	77	20	8	47	47	24	△ 22

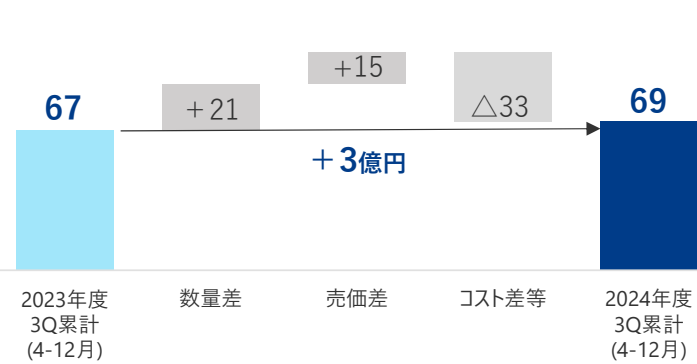
■ 生成AI向けの需要拡大と高圧ケーブル向けの需要回復も、セラミックス基板の主要ユーザでの設計変更による販売減、在庫影響によるコスト増により、前年並

営業利益 差異分析(前年比)

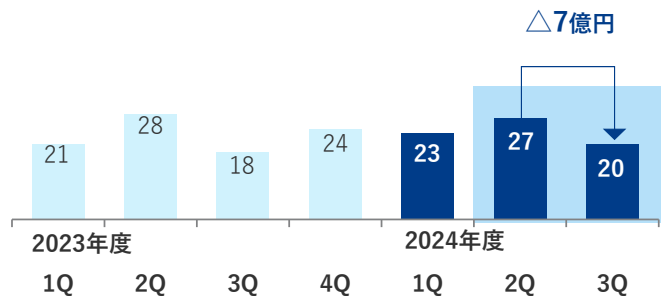
単位：億円

差異理由 (前年比)

※ TIM (Thermal Interface Materials : 放熱材料)



営業利益 四半期推移



3Q単体(2Q比)

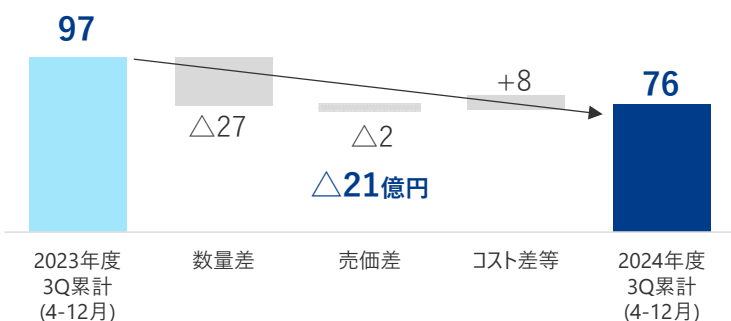
- ・生成AI向け以外の半導体の需要が足踏み
- ・セラミックス基板の主要ユーザでの設計変更に伴う在庫処分等

品名	売上高	数量差	(用途別)			売価差
			半導体・電子部品	xEV	その他	
球状アルミナ	↑	↑	(TIM※用途) 緩やかな需要回復 (放熱封止剤用途) 生成AI向けの次世代メモリ向け採用拡大	欧米EV向け 低調により 販売減		↑ 販売 構成差 (生成AI 向け増 加)
球状シリカ	→	→	(封止材用途) 生成AI向け以外は回復が鈍化 (樹脂基板用途) 生成AI向けの需要増			↑ 同上
高機能フィルム	↑	↑	電子部品向けは緩やかに回復			↑ 為替 影響： プラス
アセチレン ブラック	↑	↑		同上	(高圧ケーブル向け) 欧州向け需要回復基調 により販売増	→
セラミックス基板 (窒化珪素、窒化アルミ)	↓	↓		主要ユーザで の設計変更に よる販売減	(電鉄向け) 堅調に回復	→
コスト差等		↓	為替影響、在庫影響 (単価の高い期首在庫の影響)、他			

- 春先からインフルとコロナが継続的に流行した昨年と比べ、コンボキットの販売が減少し減益
- 抗原迅速診断キットはフル稼働継続も、今冬のインフル流行で更に需要増。25年4月より新工場(能力増強)で供給

営業利益 差異分析(前年比)

単位：億円



差異理由 (前年比)

項目	売上高	数量差	売価差
インフルエンザワクチン	→	→	→
抗原迅速診断キット	↓	↓	→
臨床試薬 (炎症マーカー等)	→	→	→
コスト差等	→	→	→

数量差

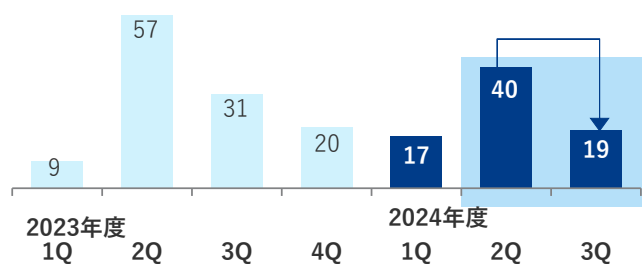
- インフルエンザワクチン: 前年並
- 抗原迅速診断キット: 春先からインフルエンザと新型コロナウイルスが継続的に流行した昨年と比べ、コンボキットの販売が減少
インフルエンザ・新型コロナウイルスをはじめ抗原迅速診断キットの検査需要全体は依然旺盛で、フル稼働が継続

売価差

- 抗原迅速診断キット: 保険点数引下げの影響は軽微

営業利益 四半期推移

△21億円



3Q単体(2Q比)

インフルエンザワクチン：9月前倒し出荷による販売減

■ クロロプレンゴムは前年並みの出荷も、9月から順次値上げ実施中

営業利益 差異分析(前年比)

単位：億円



差異理由 (前年比)

品名	売上高	数量差	理由
クロロプレンゴム	→	→	低調な需要が継続
特殊混和材	↘	↘	工事遅れなどにより販売減
セメント	→	→	前年並
コスト差等	→		セメント：石炭価格が下落 (2023年3Q累計：\$148/t ⇒ 2024年3Q累計 \$138/t)

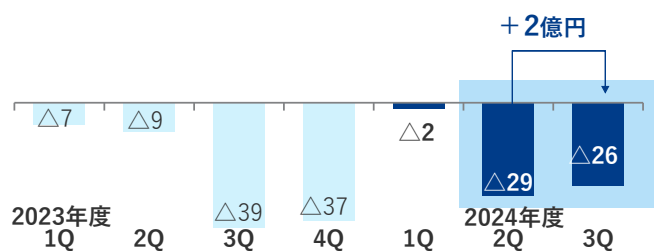
売価差

- ・為替影響：プラス
- ・為替除く影響：マイナス
他社品との競争激化により販売価格下落も、9月から順次値上げ

【通関統計】輸出単価 (ドライ+ラテックス) (円/kg)



営業利益 四半期推移



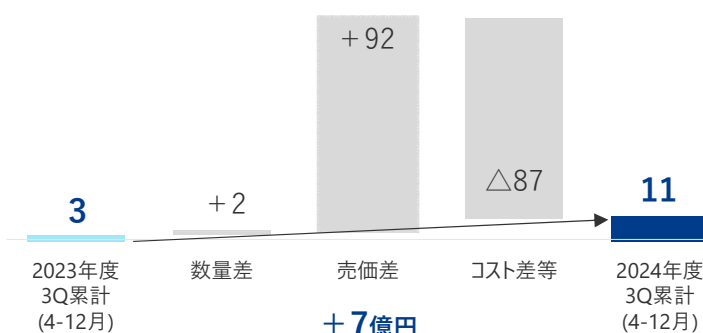
3Q単体(2Q比)：2Q並み

■ PC・家電向けなど需要回復傾向により増益

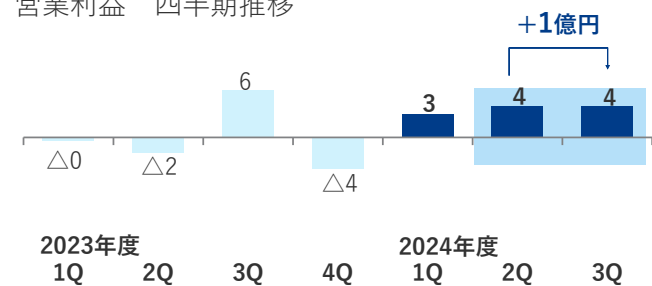
営業利益 差異分析(前年比)

単位：億円

差異理由 (前年比)



営業利益 四半期推移



売上高

数量差

売価差

MS樹脂	↗	↗	(導光板用途) PCモニター向けが堅調	↗
AS・ABS・ 透明樹脂など	↗	↗	(家電用途) 中国向けにてユーザーでの在庫調整が進捗	↗
食包シート・容器	→	→	前年並	↗
Toyokalon	→	→	前年並	→
コスト差等	↘		原燃料価格上昇により悪化 (スプレッドは維持)	

2024年度(2025年3月期)
業績予想

■ 概ね想定並みに進捗も、需要の回復が鈍化しており、予想達成に向けた取り組み強化中

単位：億円	2023年度		2024年度 今回予想 (前回予想から 変更なし)			(前年比)
	3Q累計	4Q		3Q累計	4Q予想	
売上高	2,928	964	3,893	3,016	1,184	4,200 + 307
営業利益	126	8	134	118	62	180 + 46
営業利益率	4.3%	0.9%	3.4%	3.9%	5.2%	4.3% + 0.8%
経常利益	85	△30	55	43	77	120 + 65
純利益	36	84	119 ^{※1}	26	64	90 ^{※2} △ 29
為替レート (円/\$)	142.9	146.7	143.8	152.3		150.5
国産ナフサ (円/Kリットル)	68,100	72,300	69,000	76,200		75,700

※1：2023年度政策保有株式売却益+174億円
Icon Genetics社に係るのれんの減損損失△68億円

※2：2024年度政策保有株式売却益+3億円

- 米国の新規制によるクロロprenゴム製造設備の操業への影響および業績への影響は精査中
- 2024年度中を目標に検討中のクロロprenゴム事業の抜本的対策による影響は未織り込み

営業利益 (単位：億円)	3Q累計 (4-12月)	4Q 予想	通期 予想	進捗状況
電子・先端プロダクツ	69	31	100	生成AI向け需要が拡大の一方、生成AI向け以外の半導体関連の需要は想定よりも回復が鈍化 xEVは引き続き低調
ライフソリューション	76	24	100	抗原迅速診断キット：年末年始からインフルエンザが流行するも、既にフル稼働が継続しており、想定を上回る出荷増は困難。 2025年4月より新工場（増強工事）での供給開始 インフルエンザワクチン：年末年始のインフルエンザ流行に伴う今年度の接種率上昇は見られず。来年度以降の接種率の動きを注視
エラストマー・ インフラソリューション	△57	2	△55	2024年度中を目標に検討中のクロロprenゴム事業の抜本的対策による影響は織り込んでいないため、期初予想据え置き（P2参照）
ポリマーソリューション	11	4	15	堅調に需要が回復していたPC・家電向けは足元で弱含みの傾向
その他/消去差	19	1	20	
合計	118	62	180	

■ アセチレンブラックの新規設備（タイ）の建設費で計上時期のズレがあり見直し、工事は計画通り進行中

設備投資・投融資額

減価償却費

研究開発費

単位：億円

	3Q累計（前年比）		通期（期初予想比）		3Q累計（前年比）		通期（期初予想比）		3Q累計（前年比）		通期（期初予想比）	
	2023年度	2024年度	2024年度		2023年度	2024年度	2024年度		2023年度	2024年度	2024年度	
	実績	実績	期初予想	今回予想	実績	実績	期初予想	今回予想	実績	実績	期初予想	今回予想
電子・先端プロダクツ	114	208	480	350	66	70	96	変更なし	41	42	60	55
ライフイノベーション	35	84	100	120	29	24	30		35	35	60	50
エラストマー・インフラソリューション	94	91	80	115	67	69	90		21	19	25	25
ポリマーソリューション	34	43	40	65	37	39	50		18	18	25	25
その他/消去差	-	-	-	-	2	3	4		-	-	-	-
合計	276	426	700	650	201	205	270	115	114	170	155	

2024年度の設備投資・投融資額の増加理由

⇒重要戦略投資の計上タイミング

- ・電子先端プロダクツ：アセチレンブラック タイでの新規製造拠点設立
- ・ライフイノベーション：検査試薬・抗原迅速診断キット 増産工事

経営計画「Mission2030」での8年間の投資キャッシュフロー1,000億円削減のため、2023年度以降、投資額を意思決定ベースでは当初計画から大幅に削減済

■ 配当予想は100円/株から変更なし。2024年度中を目標に検討中のクロロプレンゴム事業の抜本的対策による影響を考慮の上、来期以降のキャッシュフロー改善を見込む

		2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 通期予想
当期純利益	(億円)	250	227	228	260	128	119	90
1株当たり配当	(円/株)	120.0	125.0	125.0	145.0	100.0	100.0	100.0 (中間50.0 期末50.0)
配当額	(億円)	105	108	108	125	86	86	86
配当性向		42%	48%	47%	48%	68%	72%	96%
自己株取得	(億円)	21	-	-	-	-	-	-
総還元額	(億円)	126	108	108	125	86	86	86
総還元性向		50%	48%	47%	48%	68%	72%	96%
減価償却額	(億円)	229	225	229	239	270	269	270
設備投資・投融資額	(億円)	328	369	423	356	394	437	650
有利子負債残高	(億円)	1,121	1,343	1,382	1,370	1,697	1,744	2,090
ネットDEレシオ		0.40倍	0.42倍	0.42倍	0.40倍	0.50倍	0.45倍	0.60倍
ROIC		7.8%	6.6%	6.8%	7.3%	6.7%	2.5%	3.0%
ROE		10.3%	9.1%	8.8%	9.4%	4.4%	4.0%	2.9%

単位：億円

売上高	2023年度 実績	2024年度 今回予想 (変更なし)	増減		数量差		売価差	
電子・先端プロダクツ	878	950	+	72	+	50	+	22
ライフイノベーション	471	450	△	21	△	13	△	8
エラストマー・インフラソリューション	1,114	1,200	+	86	+	125	△	38
ポリマーソリューション	1,242	1,400	+	158	+	42	+	116
その他/消去差	188	200	+	12	+	12		-
合計	3,893	4,200	+	307	+	216	+	91

営業利益	2023年度 実績	2024年度 今回予想 (変更なし)	増減		数量差		売価差		コスト差等
電子・先端プロダクツ	90	100	+	10	+	34	+	22	△ 46
ライフイノベーション	117	100	△	17	△	15	△	8	+ 6
エラストマー・インフラソリューション	△93	△55	+	38	+	55	△	38	+ 21
ポリマーソリューション	△1	15	+	16	+	8	+	116	△ 107
その他/消去差	20	20	△	0	△	0		-	△ 0
合計	134	180	+	46	+	81	+	91	△ 126

売上高 単位：億円	2022年度				2023年度				2024年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q予想
電子・先端プロダクツ	219	256	223	238	192	225	217	245	219	232	225	275
ライフイノベーション	64	155	169	88	72	150	158	90	78	146	127	99
エラストマー・インフラソリューション	304	325	316	293	280	292	286	256	292	272	280	355
ポリマーソリューション	316	320	303	337	298	317	309	319	326	349	349	376
その他 / 消去差	41	29	47	34	37	51	45	54	38	40	44	79
合計	944	1,086	1,058	988	878	1,035	1,015	964	952	1,038	1,025	1,184

営業利益 単位：億円	2022年度				2023年度				2024年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q予想
電子・先端プロダクツ	41	56	41	42	21	28	18	24	23	27	20	31
ライフイノベーション	5	60	50	28	9	57	31	20	17	40	19	24
エラストマー・インフラソリューション	△2	15	△13	△11	△7	△9	△39	△37	△2	△29	△26	2
ポリマーソリューション	△1	△0	△9	△1	△0	△2	6	△4	3	4	4	4
その他 / 消去差	6	4	9	4	5	5	4	6	7	5	7	1
合計	49	134	78	63	28	77	20	8	47	47	24	62

業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

世界に誇れる、化学を。

Denka

本資料に関するお問い合わせ先
デ ン カ 株 式 会 社
コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5290-5511

URL <https://www.denka.co.jp>